※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護過程	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「介護過程」（実教出版）						
副教材等	「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規） 「介護福祉士重要過去問　完全マスター問題集」（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

サービス利用者一人ひとりの自立した心豊かな生活が送れるよう支援するための介護過程について学び、施設実習を通じて実践力を高めていきます。３年生では、具体的な介護場面を想定した事例を使ってケアプランを作成することで、介護福祉士として必要な専門的な介護技術、知識を身に付けます。

①サービス利用者主体の介護過程の展開に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身に付けるだけではなく、実践的で体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力と実践力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

人間としての尊厳の保持と自立生活支援の観点から介護過程の意義と役割を理解し、介護過程が展開できる能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	サービス利用者主体の介護過程の展開について関心をもち、介護を必要としている人の気持ちに寄り添った援助ができるよう、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	高齢者や障がい者などに多く見られる疾病や機能低下が及ぼす日常生活での諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	サービス利用者に応じたよりよい介護の提供のために必要な介護過程の基礎的・基本的な技術を身に付け、根拠にもとづいてその技術を適切に活用している。	サービス利用者に応じた介護過程の展開に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、高齢者や障がい者の尊厳の保持や自立生活支援の基本に立った介護過程の意義と役割を理解している。
価方法	・学習状況の観察 ・介護計画の作成 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・介護計画の作成 ・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・介護計画の作成 ・ワークシート	・定期考査 ・小テスト ・介護計画の作成 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第3編　介護過程の実践的展開	第3編　介護過程の実践的展開 第１章　介護過程の展開の実際 1　アセスメントの実際 2　評価の実際	○	○	○	○ ○	a: ７月の施設実習で利用者のニーズをふまえた介護過程を実践するために、主体的に事例問題に取り組んでいる。 b: ７月の施設実習に向けて、事例を通じて、ＩＣＦに基づいたアセスメントを提案することができる。 c:実践力を高めるために、様々な事例問題を読み取り、利用者一人ひとりに応じた課題の明確化ができる。 d: 介護福祉士として、求められる介護過程の展開方法について専門的な知識や技術について理解している。	・学習状況の観察 ・定期考査 ・小テスト ・介護計画の作成 ・ワークシート ・発表
2学期	第4編　介護過程とチームアプローチ	第4編　介護過程とチームアプローチ 第1章　介護過程とチームアプローチの意義 1　チームアプローチが持つ意義 2　多職種連携	○	○	○	○	a:介護過程における多職種連携について興味や関心をもち、利用者一人ひとりに応じたよりよい介護過程に向けて探究しようとしている。 b:他の専門職と連携を行うために、介護福祉士の専門的な立場から、根拠に基づいた介護を提案することができる。 c:介護過程の多職種連携について、様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:介護過程とチームアプローチの意義や重要性について理解している。	・学習状況の観察 ・定期考査 ・小テスト ・介護計画の作成 ・ワークシート ・発表

※令和３年度以前入学生用

		第2章　介護過程とチームアプローチの実際 1　施設介護におけるチームアプローチ 2　在宅介護におけるチームアプローチ	 ○ ○	 ○ 	 ○	 ○ 	a:施設と在宅における介護過程について関心をもち、利用者一人ひとりに応じたよりよい介護過程に向けて探究しようとしている。 b:事例問題を通じて、介護福祉士の専門的な立場から、根拠に基づいた施設介護や在宅介護を提案することができる。 c:事例問題から施設介護と在宅介護の介護過程におけるチームアプローチの違いについて読み取り、適切に活用することができる。 d:施設介護と在宅介護におけるチームアプローチの意義や重要性について理解している。	
3学期	国家試験問題　介護過程	国家試験問題:介護過程 1　介護過程の意義 2　介護過程の展開 3　介護過程の実践的展開 4　介護過程とチームアプローチ	 ○ 	 ○ 	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである介護過程について、興味や関心を持って取り組んでいる。 b:国家試験の事例問題について、３年間学習してきた知識や技能を使って思考を深め、適切に表現している。 c:　国家試験問題について過去問題を収集・分析し、適切に活用している。 d:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである介護過程について、専門的な知識を理解している。	・学習状況の観察 ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。